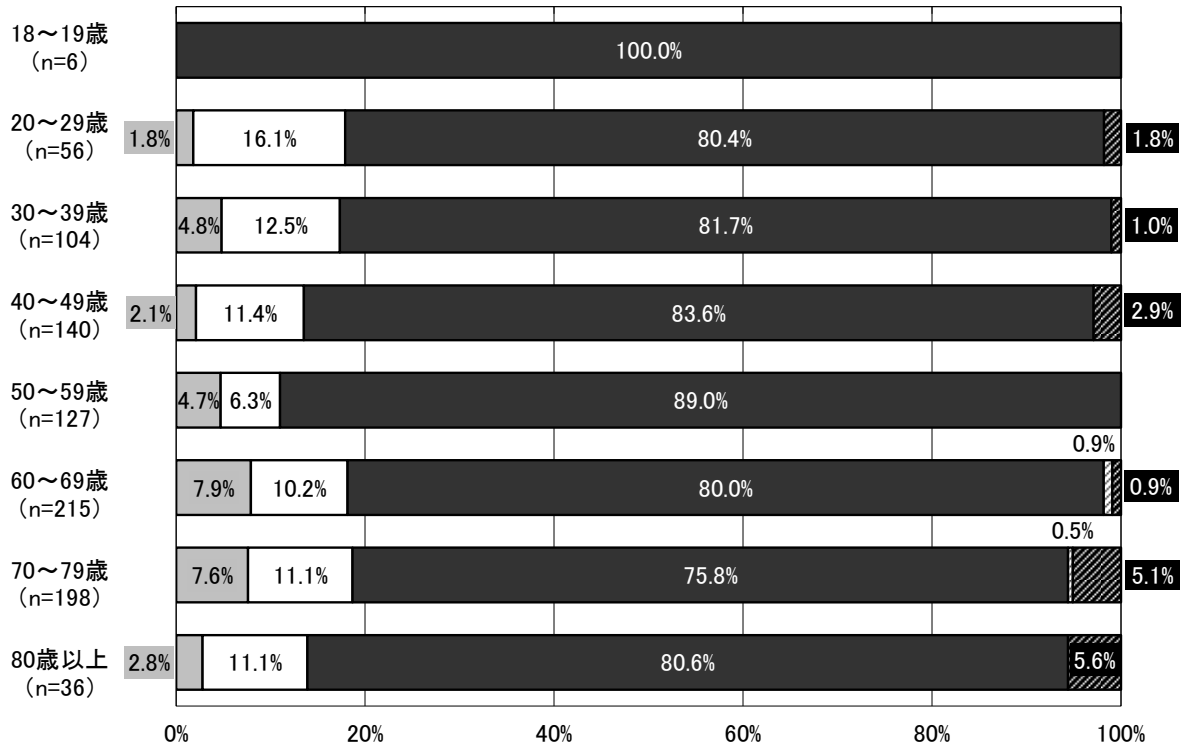




現在、活動している
  活動したことがある
  活動したことがない  
 その他
  不明

<年代別>



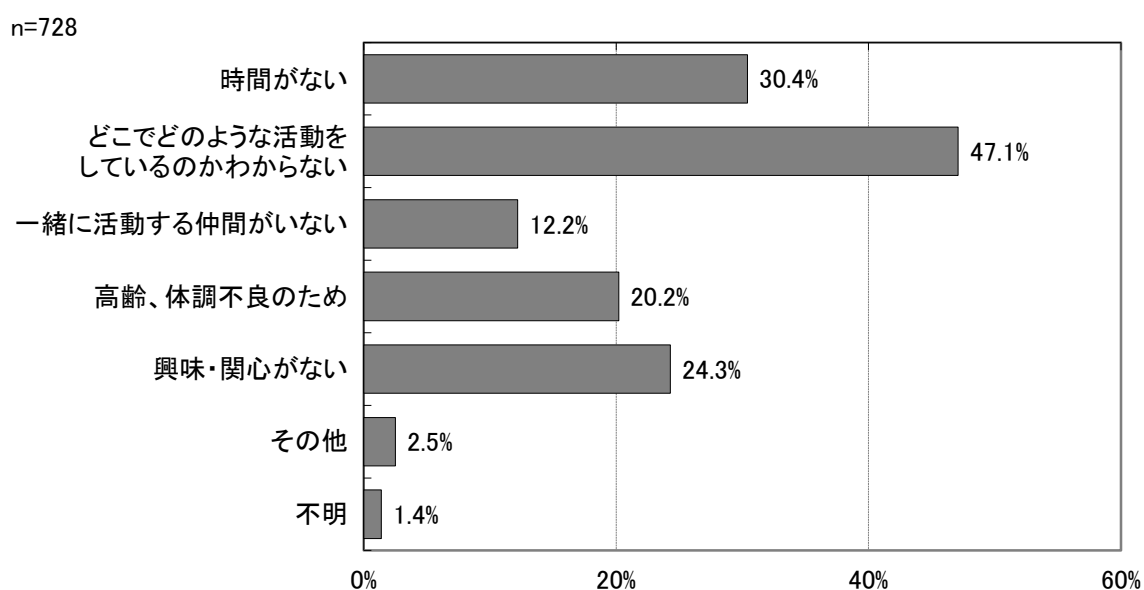
## 問 41-1 市民公益活動に参加しない理由

問 41-1 問 41 で「3. 活動したことがない」と回答された方のみお答えください。

活動されない理由は何ですか？あてはまるものをすべてお選びください。

- |                           |               |
|---------------------------|---------------|
| 1. 時間がない                  | 4. 高齢、体調不良のため |
| 2. どこでどのような活動をしているのかわからない | 5. 興味・関心がない   |
| 3. 一緒に活動する仲間がない           | 6. その他 ( )    |

問 41-1 で「活動したことがない」と回答した 728 人について、「どこでどのような活動をしているのかわからない」が 47.1%と最も高く、次いで「時間がない」(30.4%)、「興味・関心がない」(24.3%) の順となっている。



その他：「興味をそそられる活動がない。同じ年代の人が居ない」、「怪しい団体もあるから」、「ボランティアをするなら働きたい」など

## 問 42 「協働」の認知度

### 問 42. あなたは、「協働」という言葉を知っていますか？

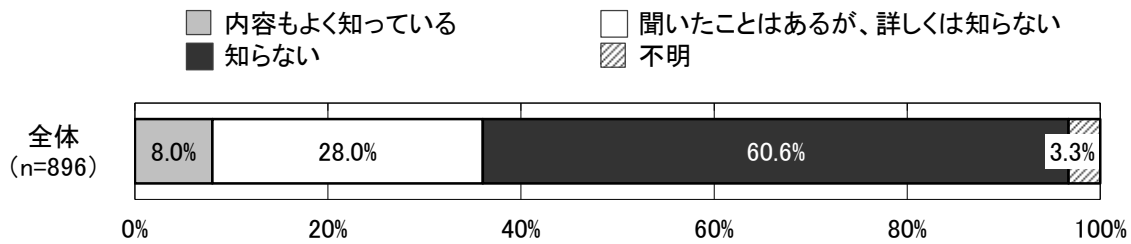
1. 内容もよく知っている
2. 聞いたことはあるが、詳しくは知らない
3. 知らない

※ 「協働」とは、公益という共通の目的のもとに、行政と市民(市民公益活動団体等)が互いの立場を認めながら、対等な関係で連携・協力し、共通課題の解決に当たる取組みです。

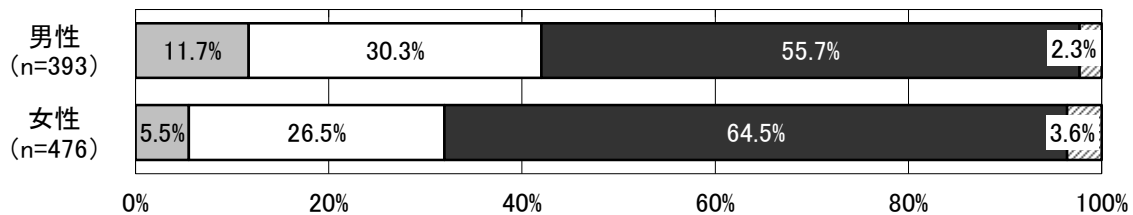
「協働」の認知状況は、「内容もよく知っている」(8.0%)と「聞いたことはあるが、詳しくは知らない」(28.0%)を合わせた認知率は36.0%となり、「知らない」は60.6%となっている。

性別にみると、認知率は男性が42.0%、女性が32.0%で、男性が10.0ポイント上回っている。

年代別にみると、認知率は70~79歳が41.4%と最も高く、80歳以上は27.8%と最も低くなっている。

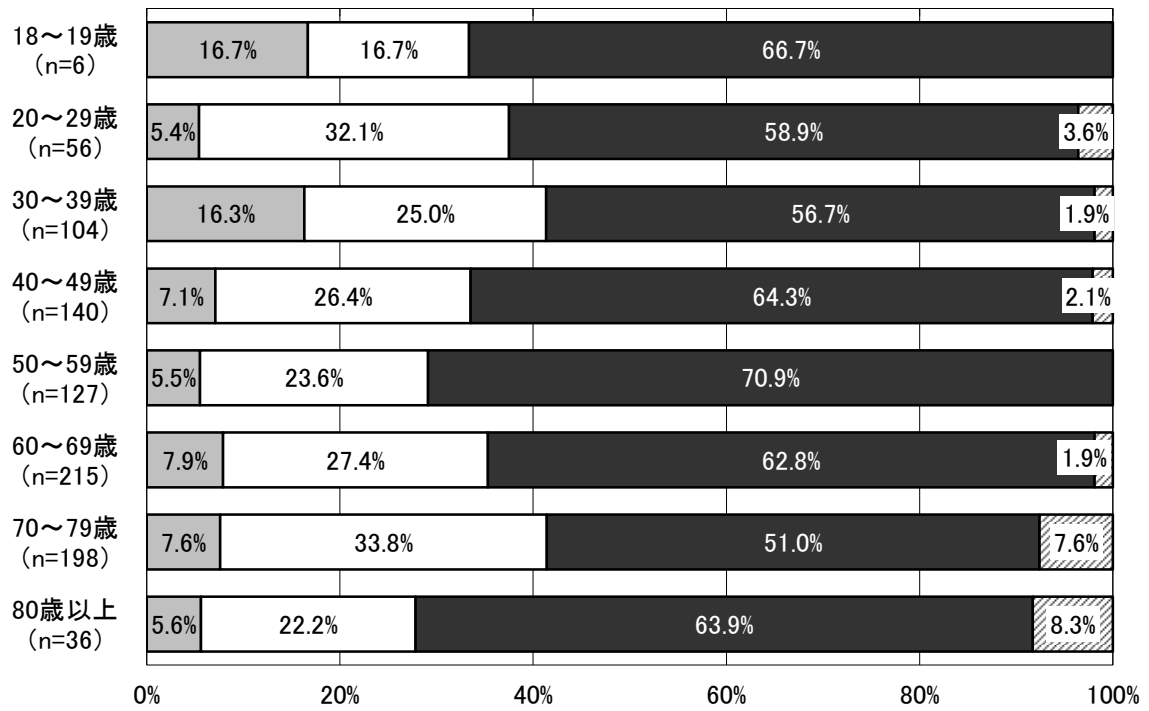


### <性別>





<年代別>



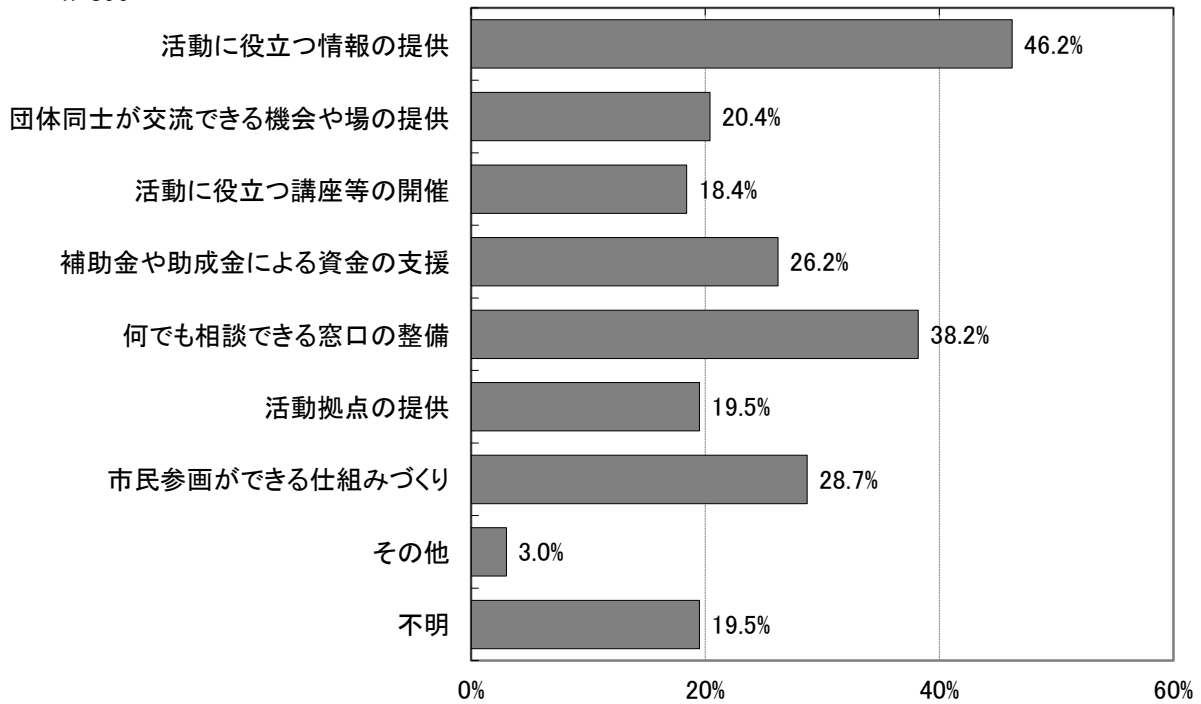
問 43 行政の市民公益活動支援施策

問 43 協働のまちづくりを進める上で、行政が市民公益活動団体支援のために行う施策として、相応しいと思うものは何ですか？あてはまるものをすべてお選びください。

- |                      |                   |
|----------------------|-------------------|
| 1. 活動に役立つ情報の提供       | 5. 何でも相談できる窓口の整備  |
| 2. 団体同士が交流できる機会や場の提供 | 6. 活動拠点の提供        |
| 3. 活動に役立つ講座等の開催      | 7. 市民参画ができる仕組みづくり |
| 4. 補助金や助成金による資金の支援   | 8. その他            |
- ( )

市民公益活動団体支援のためにふさわしい行政支援については、「活動に役立つ情報の提供」が46.2%と最も高く、次いで「何でも相談できる窓口の整備」(38.2%)、「市民参画ができる仕組みづくり」(28.7%)の順となっている。

n=896



その他：「信頼できる相談員」、「団体の育成」、「協働を教育の一環として小学校より授業に取り入れる」など